本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	郵便番号	所在地	電話番号
大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎06（586）3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎0722（38）1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎0726（71）0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎0729（62）1131
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎078（360）3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	☎075（311）7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎0742（44）1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎0734（31）2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎0792（85）2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎0796（23）2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎0775（62）5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎0749（22）3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎0749（62）7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎06（202）2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガス支社またはサービスショップに連絡してください。

ガス給湯器
取扱説明書

商品コード
33-749 型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

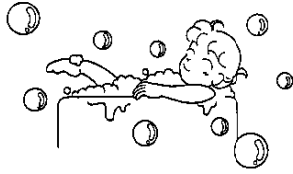
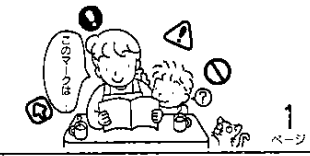
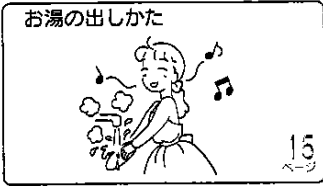
○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

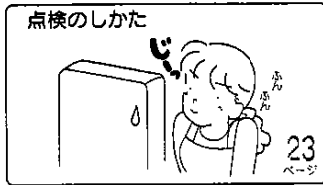
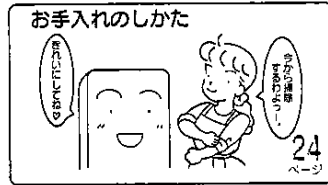
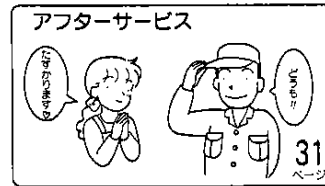
○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

型式名	YS1631SH

大阪ガス

TA19

使用前に

特に注意していただきたいこと 1 ページ

使いかた

お湯の出しかた 15 ページ

点検・お手入れ・他

この取扱説明書の本文中に出てくる「浴室リモコン」はカタログなどで記載している「シャワーリモコン」と同じものをいいます。

- 機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

もくじ　ページ

使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。

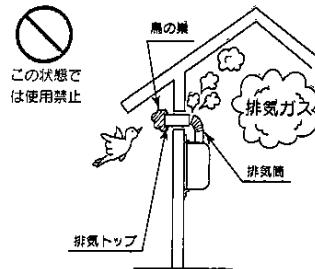
☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します。
⚠	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	感電注意
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	アース必要
	電源プラグを抜く

⚠危険

■排気トップ・排気筒の点検について

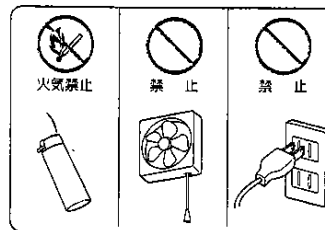
- 排気トップ・排気筒は定期点検をする。
  1. 排気筒がはずれていないか。
  2. 排気トップが詰まっていないか。（鳥の巣・すすなど）
  3. 排気トップがふさがれていないか。
- 上記①〜③の状態では使用禁止

この状態では使用禁止

室内に排気が漏れて、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

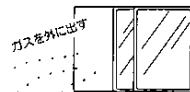
■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①〜③の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。

① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。

閉じる

② ガスを外に出す。（窓や戸を開ける。）

ガスを外に出す

③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

連絡する

※周辺の電話は使用しないでください。

⚠警　告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。
- 機器および排気トップの周囲は、障害物・可燃物・開口部から十分離れていることを確認する。（別添の「工事説明書」参照）

火災、一酸化炭素中毒や思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

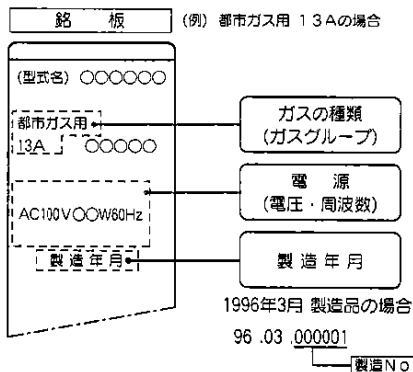
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガス(数種類)とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

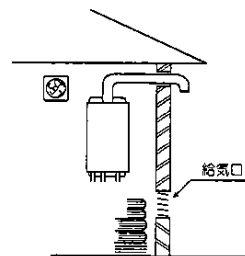
- 機器の製造年月も銘板に表示してあります。合わせて確認してください。

わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

確　認

⚠警　告

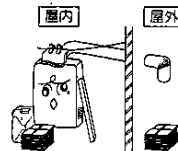
■換気注意

- 機器が設置してある室内の給気口は、絶対にふさがない。
- 機器を長時間使用する場合（浴そうへの湯はりなど）は、室内のレンジフードや換気扇を絶対に使用しない。
（窓などを開けて換気をする。）

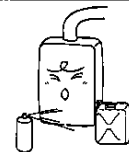
禁　止

排気ガスの逆流により、一酸化炭素中毒や不完全燃焼のおそれがあります。

- 機器の周辺や排気トップ・排気筒周辺に燃えやすい物（洗濯物・新聞紙・木材・灯油など）を置かない。

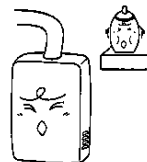
火災のおそれがあります。

発火注意

- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

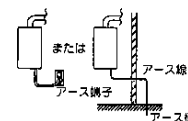
火災のおそれや機器の故障の原因になります。

禁　止

- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力があがり、爆発するおそれがあります。

禁　止

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。
- アース線やアース端子は、絶対にはずさない。

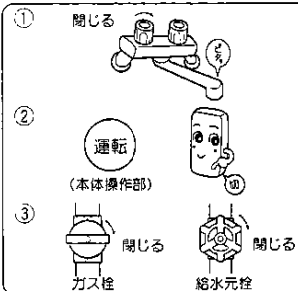
万一、機器が故障した場合、感電のおそれがあります。

アースする！

⚠ 警　告

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずに処置する。

① 給湯栓を閉じる。

② リモコンの運転スイッチを「切」にする。

③ ガス栓・給水元栓を閉じる。

- 給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を変化させたときなどに熱いお湯が出ることがあるため、直接体にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。
- 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあるため、湯はり中や入浴前には手でお湯の温度を確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

高温注意

- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

熱湯によるやけどのおそれがあります。

高温注意

⚠ 注　意

- 排気トップからの排気ガスによって、加熱されて困るもの（植木・ペットなど）を置かない。

植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- 給湯、シャワー以外の用途に使用しない。

思わぬ事故の原因になります。

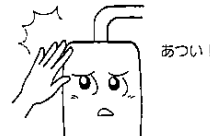
- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているためさわったりしない。

やけどのおそれがあります。

接触禁止

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

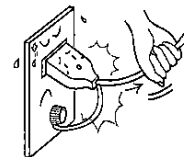
感電のおそれがあります。

感電注意

- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。

電源コード断線（芯線の一部）による発熱や発火の原因になります。

禁　止

- 電源プラグのほこりをとる。
- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

電源プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電のおそれがあります。

お願い　危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

●使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

本体操作部の燃焼表示で確認してください。(14ページからの「使いかた」を参照)

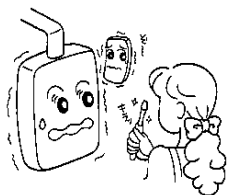
●使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

●この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。

●本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

著しく寿命が短くなります。

●機器およびリモコンの分解は絶対にしないでください。

分解禁止

●お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

23ページの「点検・お手入れ」を参照してください。

●機器内に長時間たまった水や、朝一番に使用するお湯(洗面器一杯程度)は飲用や調理用に使用しないでください。念のために雑用水として使用してください。

●長期間使用しない場合は、ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

水抜きの方法は、21～22ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。

●断水時は給湯栓を閉じ、本体操作部の運転スイッチを「切」にしてください。
●再通水したときは、14ページから「使いかた」に従って操作してください。

●外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。21～22ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

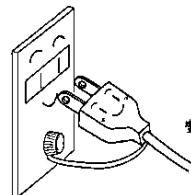
凍結による機器・配管の修理は有料です。

お願い　危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

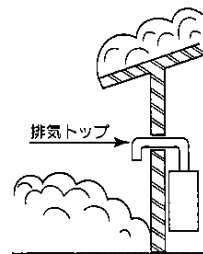
●雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。

電子部品が故障する原因になります。

●雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。

電源プラグを抜く!

●積雪時は機器および機器の排気トップが雪でふさがれていないか、排気トップが落雪により倒れたり、傾いていないか確認してください。

不完全燃焼の原因になります。

●雪で排気トップがふさがれたり屋根からの落雪により排気トップが倒れたり、傾いたりしている場合は、積雪・落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

●リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。

●リモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。

●増改築などにより、線入・網入板ガラスを排気トップの近くに取り付けないでください。

排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

●お出かけや、おやすみのときは、機器が消火していることを必ず確認してください。

お願い 危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

● この機器は「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象機器です。
法定の表示ラベルが所定の位置に貼り付けてあることを確認してください。

※貼付位置は「工事説明書」に記載しています。

（表示ラベルの例）

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示		
工事事業者の氏名又は名称		
工事事業者の電話番号	TEL	
施工者の氏名		資格証の番号
施工内容		
施工年月日	年　月　日	

● 停電および電源コードを抜いた場合は、自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
● 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。14ページからの「使いかた」に従って、操作してください。

● 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）

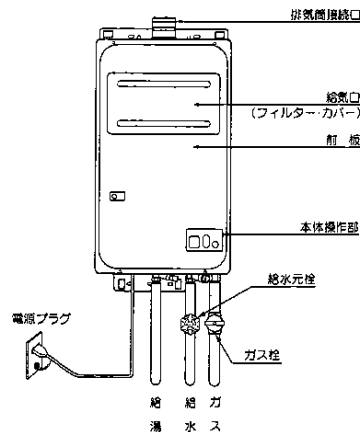
お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

● 機器の付近で整髪剤のスプレーなどの薬品類を多頻度で使用しないでください。

部品の寿命が短くなる場合があります。

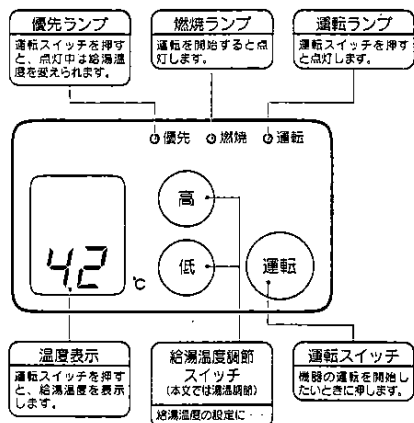
各部のなまえとはたらき

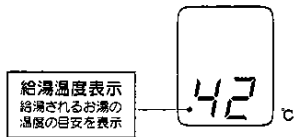
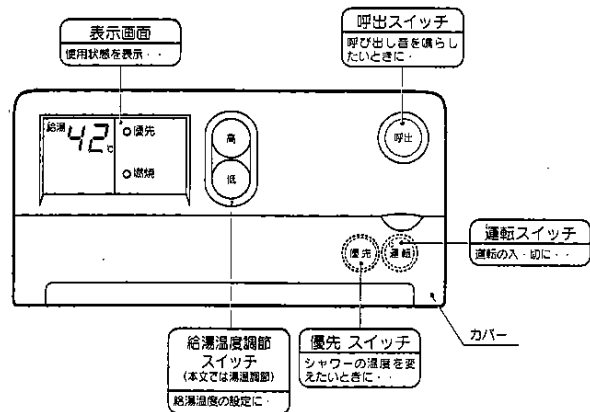
機器本体

● 強制排気型
33-749型

特長

● 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
● 給湯の設定温度が一目でわかるデジタル表示。

リモコンについて

本体操作部

表示画面

〔例〕給湯設定温度42℃のとき

浴室リモコン〔別売部品〕

表示画面

〔例〕給湯設定温度42℃のとき

使用状態により、表示は異なります。

使用前に

リモコンについて

増設リモコン［別売部品］

給湯 42℃
優先
燃焼
低 高
優先
運転
呼出

表示画面
使用状態を表示

給湯温度調節スイッチ
(本文では湯温調節)
給湯温度の設定に・・

優先スイッチ
給湯の温度を変えたいときに・・

運転スイッチ
運転の入・切に・・

呼出スイッチ
呼び出し音を鳴らしたいときに・・

カバー

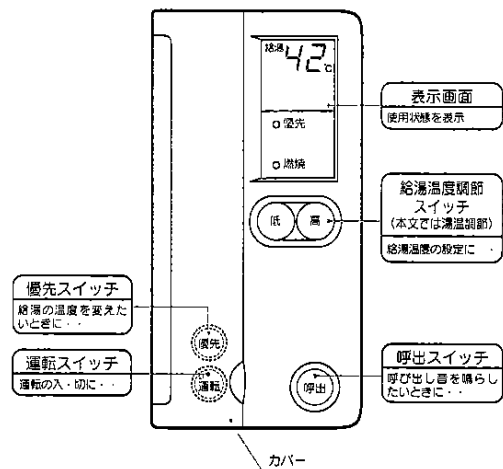
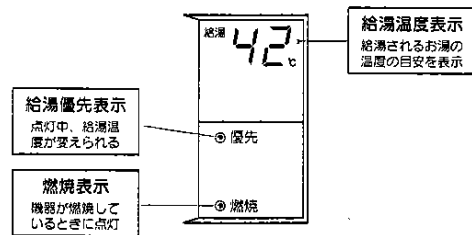
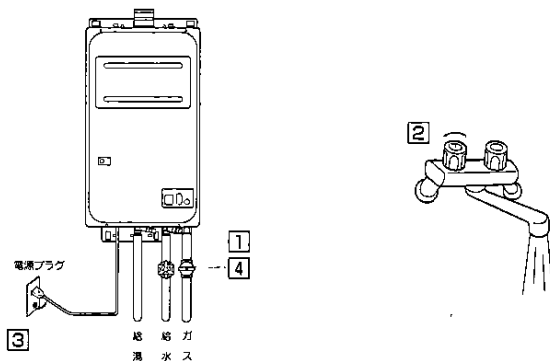



表 示 画 面

［例］給湯設定温度42℃のとき

使用状態により、表示は異なります。

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認 1～4の手順で行ってください。

1 給水栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

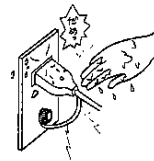
3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。

4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。

お湯の出しかた

⚠警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

- 他の人が給湯およびシャワーを使用しているときにリモコンのお湯の温度を変えない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。

禁止

やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞りすぎたときや水温が30℃に近いときおよび、ソーラシステムと接続しているときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。

1 ～ 4 の手順で行ってください。

1 運転スイッチを押す

表示は本体操作部の例です。
ランプ表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。

2 湯温調節スイッチを押す

1度設定すると記憶します。

確認

3 お湯を出す

給湯栓を開ける。

4 お湯を止める

給湯栓を閉じる。

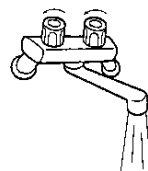
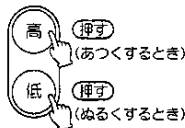
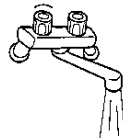
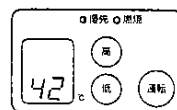
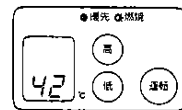
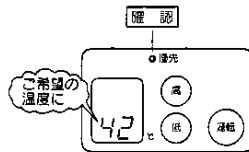
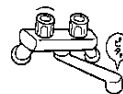
給湯設定温度について

■はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。

■給湯温度のめやす

この範囲は1℃単位で調節できます。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60	75	℃

食器洗いなど（37）／給湯・シャワー（38～43）／あつめの給湯（44～49）／高温（50～75）

- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ピッピッ」でお知らせします。
- 「高」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。
60℃、75℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた

⚠警告

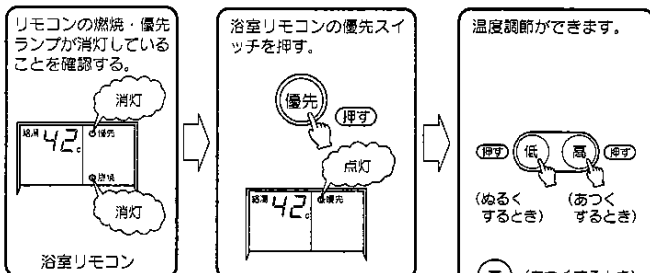
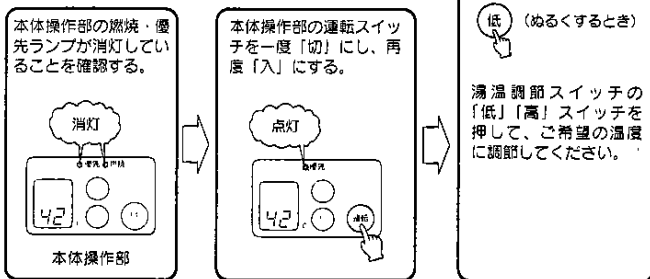
- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼ランプが消灯していることを確認する。
- 燃焼ランプが点灯しているときの優先の切り替えはしない。
- 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

優先表示について（本体操作部と別売の浴室リモコンを使用する場合）

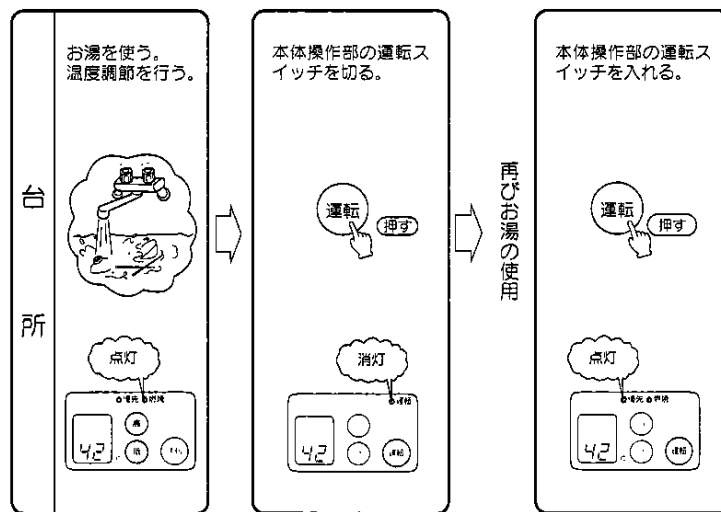
- 優先ランプの点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

⚠警告

前回に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃・75℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。

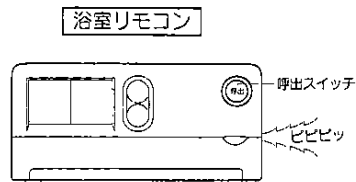
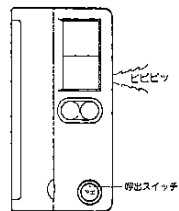
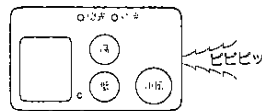
給湯設定温度の記憶について〔各リモコン（本体操作部含む）で最後に設定された温度を記憶します。〕

- 本体操作部で紹介をしますが、他のリモコンでも同じ操作方法です。

給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり、電子音「ピッピッ」でお知らせします。

呼び出し音を鳴らしたいとき

別売部品の浴室リモコンまたは、増設リモコンを使用されているときのみ、人を呼ぶ必要が生じたときなどに声を出さずに知らせることができます。

呼出スイッチを押す

浴室リモコン

増設リモコン

本体操作部

- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。
  (押し続けているとその間鳴り続けます。)
- 浴室で、シャンプーや石けんがないときなど、困ったときも呼出スイッチがあれば便利です。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき(現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。(機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求め販売店または、大阪ガスに連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差し(機器用屋内ブレーカーを「切」「入」)してから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	凍結予防のしかたもご覧ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯がでます。給湯栓を閉じたあともお湯がでることがあります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、大阪ガスに相談してください。
不完全燃焼検出装置	異常燃焼が発生したとき	自動的にガスを止めます。	30ページをご覧ください。

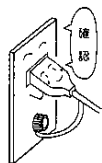
処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、大阪ガスに連絡してください。

凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法（通常の寒さのとき）

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 電源プラグが差し込まれていることを確認する。

運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

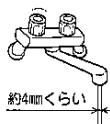
> 給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

■外気温が-10℃よりも低いときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法（冷え込みが厳しいとき）

1 浴そうのお湯を排水する。
2 運転スイッチを切る。

3 ガス栓を閉じる。

4 給湯栓より水を少量流す。
（1分間に約400cc・・・太さ約4mm）

5 約30分後に再度流量を確認する。

> 給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

1 運転スイッチを切る。
2 ガス栓を閉じる。
3 給水元栓を閉じる。
4 給湯栓を全開にする。
5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

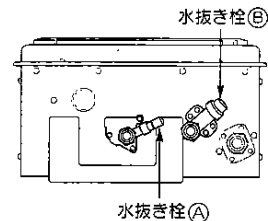
> 凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
> 凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内の水を抜く方法（長期間使用しないときや冷え込みが厳しいとき）

⚠注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

やけどのおそれがあります。

1 電源プラグを抜く。
（運転スイッチを切って、約10秒程待ってから行ってください。）
2 ガス栓を閉じる。
3 給水元栓を閉じる。
4 すべての給湯栓を全開にする。
5 水抜き栓 ⒶⒷ を左に回して取りはずす。

水抜き栓Ⓑ
水抜き栓Ⓐ
（機器底面）

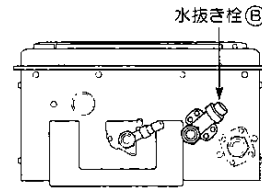
再び使用するまでそのままにしておく

> 給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。
> 機器の水抜きをするときは、洗面器などの容器を準備してください。

再度ご使用になるとき

1 水抜き栓 ⒶⒷ をしっかりと取り付ける。
2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
3 必ずすべての給湯栓を閉じてから14ページからの「使いかた」に従ってお使いください。

点検・お手入れ

点検（月に1回程度）

	点検のしかた	処置
機器および周辺	機器の周りや排気トップのそばに燃えやすいものをおいていませんか？	燃えやすいものを取り除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどがありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
	機器の外観に異常がありませんか？ 排気トップおよび給気口にほこりや、変色した跡がありませんか？	
	機器や配管周辺から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

定期点検のおすすめ

使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2〜3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

お手入れ（月に1回程度）

■給水元栓·ガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
■機器の前板をはずしたり、リモコンを分解しないでください。

	お手入れのしかた
機器本体・リモコン	固くしぼった布で汚れをふきとってください。 ベンジンやシンナーなどは使わないでください。 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。 リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。 リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。
水フィルター	1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓Ⓑを左に回してはずす。 3 水抜き栓Ⓑの水フィルターを水洗いして掃除する。

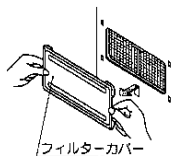
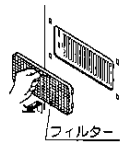
（機器底面）

お手入れ（月に1回程度）

■運転スイッチは切る。
■給気フィルターにほこりやゴミが詰まるとお知らせランプが点灯します。
　点灯したまま使用されますと、お知らせランプが点滅し機器の燃焼が停止します。
■お知らせランプが点灯したら次の手順でそうじしてください。

給気フィルター　お手入れのしかた

1 フィルターカバーを取りはずす。
- フィルターカバーを上方にスライドさせて取りはずしてください。

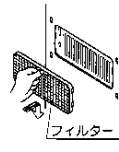
※フィルターカバーの下部コーナーを親指で上方へ押し上げるとはずしやすいです。

2 フィルターを取りはずす。
- フィルターの取っ手を持って上方にスライドさせてフィルターを取りはずしてください。

3 フィルターをそうじする。
- 掃除機で吸い取るか水洗いしてほこりやゴミを取り除いてください。
- フィルターはたたいたりしないでください。
- ベンジン、シンナー、みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯はかけないでください。

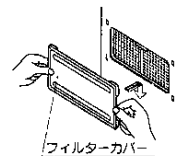
お手入れ（月に1回程度）

給気フィルター　お手入れのしかた

4 乾燥させる。（特に水洗いなどしたとき。）
- 直射日光に当てたり熱を加えないでください。
- ぬれたまま取り付けないでください。

変形、破損、故障の原因になります。

5 フィルターの取り付け。
（取りはずしと逆の方法です。）
- フィルターの「つめ」（4ヶ所）を確実に引っかけ下方にスライドさせて取り付けてください。
- 確実に取り付けができないとお知らせランプが点滅してお知らせします。
- 確実に取り付けてください。

6 フィルターカバーの取り付け。
（取りはずしと逆の方法です。）
- フィルターカバーの「つめ」（4ヶ所）を確実に引っかけ下方にスライドさせて取り付けてください。

再使用するときは、14ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 給気フィルターが破れたり、変形、破損したときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

■点検・お手入れ後の確認
- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き機器が正常に作動しているか確認してください。万一、異常音・悪臭を感じられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
● リモコンの運転ランプが点灯しない。	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？	9 20
● 給湯栓を開いてもお湯にならない。（水のまま）	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？ ● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？	9 20 14 14
● 給湯栓を開いても水が出ない。	● 断水していませんか？ ● 凍結していませんか？	7 21
● 高温のお湯が出ない。	● 湯温調節は適切でしょうか？ ● ガス栓が全開になっていますか？	16 14
● 低温のお湯がでない。	● 湯温調節は適切ですか？ ● 機器の水フィルターが詰まっていませんか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？ ● ソーラーシステムを使用していませんか？	16 24 14 16
● 使用中湯温が極端に変動する。	● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？	14 14

● 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやわからないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
● 給湯栓を絞ったら水になる。	● 給湯栓からのお湯が1分間に約2ℓ以下になると消火します。
● 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	● 機器から給湯栓までの距離があるので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
● お湯が白く濁っている。	● 白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
● 低温のお湯がでない。	● 夏場などの水温が高いときやソーラシステムと接続したときは、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。
● 運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音（ブ～ン）がする。	● 再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間（約75秒間）ファンがまわる音です。
● 給湯設定温度が75℃から60℃に変わる。	● リモコンの優先スイッチを押したり、運転スイッチをいったん「切」にすると安全のために60℃に変わります。
● 給湯設定温度が40℃に変わっている。	● 停電など、一時的に電源が切れた後（約5分以上）は、再通電後に運転スイッチを入れますと、給湯設定温度が初期設定温度に戻りますので、再設定してください。
● 停電復帰後にお湯が出ない。	● お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電しても運転スイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。 運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
● 寒い日に排気トップから白い煙がでる。	● 冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
● 給湯栓を閉めると機器の給湯側水抜き栓より水が、一時的にポタポタ出ることがある。（特に水圧が高い地域）	● これは、機器内の圧力が高くなり、過圧防止安全装置（P20）が作動して水が出る現象で異常ではありません。このようなときは床面をぬらしますので、不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
● 長時間連続で使用していると途中で水になった。	● 連続で1時間以上使用すると自動的に運転が停止するタイマーが組み込まれているためです。給湯栓を閉め、運転スイッチを切って、約10分以上待ってから再使用してください。

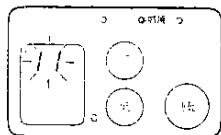
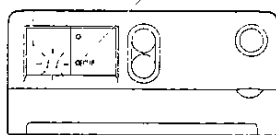
※排気筒先端に過度の風がかかると異常音が発生したり途中失火する場合がありますが、故障ではありません。カランを閉じて再度操作してください。

故障かな？と思ったら

故障表示をお調べください。

● 機器に不具合が生じると、本体操作部やリモコン表示部が下記のように2けたの数字を表示し、燃焼ランプが点滅します。

本体操作部

浴室リモコン

画面表示	内容	処置方法
01	給湯連続使用タイマー作動	28ページ参照
05	給気フィルターの外れ	30ページ参照
11	バーナー点火せず	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、表示が出なければ正常です。
12	バーナー途中消火	
13	排気ガスセンサーの作動	
14	安全装置の作動	
16･30	給湯温度制御系統の不具合	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
35	ミキシング温度測定装置の不具合	
38	排気ガスセンサーの不具合	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
71	電装系統の不具合	
72	炎検出系統の不具合	
73	制御回路の不具合	
76	リモコン系統の不具合	
90	給排気系統の不具合	

● 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、大阪ガスに連絡してください。

■修理を依頼される前に次のことを調べてください。

● お知らせランプが点灯・点滅したとき。

※運転中にお知らせランプが点滅して燃焼が停止した時は、安全のため約10分間ファンが回りますが故障ではありません。

こんな場合	理由	お知らせランプ	処置
● 使用中にお湯が水になる。 ● お知らせランプが点灯・点滅する。 ● 電子音「ピー」が鳴る。 ● 故障表示番号「13」が点滅する。 お知らせランプ 本体操作部 本体操作部 表示パネル（数値点滅） 燃焼ランプ（点滅） 13	● 給気フィルターが詰まったりふさがれて給気不足になったとき。 ● レンジフードや、換気扇の換気が強く機器への給気不足となったとき。 ● 長時間ストーブなどの使用で部屋の給気が不足したとき。 ● 排気筒や排気トップが塞がれているとき。	点灯したとき	● 必ず給気フィルターを外してそうじしてください。（そうじの仕方は、25・26ページ参照） ● レンジフードなどを「弱」にしてください。 ※再使用するときは、窓や換気口を開けて、部屋の空気を入れ替えた後、使用してください。
		点滅したとき	● 正常な給排気が行われていない可能性があります。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
本体操作部 表示パネル（数値点滅） 燃焼ランプ（点滅） 05 ● 使用できない。 ● お知らせランプが点滅。 ● 故障表示番号「05」が点滅する。	● 給気フィルターが正しく取り付けられていないとき。		● 給気フィルターを正しく取り付けてください。（取り付け方は、25・26ページ参照） ※再使用するときは、運転スイッチを「切」にし、再度「入」にするとお知らせランプが消え使用できます。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 27～30ページの「故障かな？と思ったら」を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　名　ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード　例 (N) 33-749 大阪ガス株式会社 02
   （機器前面中下に貼付してあります。）
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
  修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
  その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

品名		ガス給湯器（瞬間先止め式）
商品コード		33-749型
型式名		YS1631SH
種類	給（出）湯方式	先止め式
	給排気方式	強制排気方式
点火方式		連続スパーク、ダイレクト着火
最低作動水量		2.5ℓ/分［作動水圧 9.81 kPa {0.1kgf/cm²}］
排気温度		260℃以下
外形寸法		(高さ)600mm×(幅)350mm×(奥行)180mm
重量（本体）		20kg
接続	給水	15A（R1/2）
	給湯	15A（R1/2）
	ガス	15A（R1/2）
	電気	AC100V
電気	使用電源	AC100V（60Hz）
	消費電力	90W
	凍結予防運転時	122W
排気筒		φ60（最大7m4曲）※詳細は工事説明書参照
安全装置		立消え安全装置（フレームロッド方式）・水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置・不完全燃焼検出装置・過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置（漏電遮断器）・凍結予防装置（水抜き栓、凍結予防ヒーター）
付属品		●取扱説明書　●工事説明書　●保証書　●木ねじセット　●給水・給湯フレキシブル管
別売部品		●浴室リモコン　●増設リモコン　●配管カバー　●排気トップ

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量 kW	出湯能力ℓ/分（ガス消費量最大時）		ガス接続
			上昇温度		
		最大	25℃	40℃	
都市ガス	13　A	34.9 (30,000kcal/h)	16.0	10.0	15A (R1/2)

備考 ●出湯能力は給水圧力98.1kPa {1kgf/cm²} のとき。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。